

第 8 回地区庶務担当理事連絡協議会

と き 平成 25 年 1 月 23 日 (水) 午後 2 時 30 分～

△森会長挨拶

森府医会長は、安倍新政権の政策に触れ、次々と出される経済対策に対し注視していく意向を示した。特に第 3 回社会保障制度改革国民会議のなかで社会保障・税一体改革の議論がされたことについて、清家国民会議会長が「打出の小槌はない」、財政担当が「改革なくして診療報酬アップ改定なし」と発言していることから、今後の国民会議と参議院選挙によって来年度の診療報酬が大きく変わるとの危惧を示した。さらに消費税増税問題については、国民にも明瞭に分かる形での消費税議論・論議が必要との見解を示し「いつまでも診療報酬で補填するという話にならないよう動いていかなければならない」との考えを示した。

続いて参議院選挙について、組織内候補として羽生田日医副会長が立候補することが日医連執行委員会で決定されたと報告。また、大阪市の橋下市長の桜ノ宮高校入試中止にも触れ「民主主義は少数意見をどのように把握し、どのように反映するかが一つの大きなポイント。意見を聞かない独裁者は大変な過ちを招く」と危惧を示し、日本維新の会の動きが国の政策にどのように反映されるか、医療・介護・福祉を守る立場として注視していく意向を示し、挨拶を締めくくった。

△報告ならびに協議事項

1. 最近の中央情勢について (城守理事)

平成 24 年 11 月下旬から平成 25 年 1 月中旬にかけての社会・医療保険状況について、社会保障制度改革国民会議や経済財政諮問会議についての話題を中心に説明した。

2. 医療政策懇談会の開催について (城守理事)

と き 2 月 23 日 (土) 午後 5 時～6 時 30 分

ところ ホテルグランヴィア京都

講 演 「わが国の国家的危機と医療政策の行方」

山形大学大学院 医学系研究科生命環境医科学専攻医療政策学講座教授

村上 正泰氏

講師は大蔵省(現・財務省)の元官僚で、厚労省出向中に医療制度改革に携っておられたことを紹介、多数の参加を呼びかけた。(京都医報 2013 年 2 月 1 日号 No. 1998. 8 ページ参照)

3. 柔道整復療養費の適正化に向けた取り組みの実施状況について (内田理事)

近年柔道整復師の施術所の増加にともない、柔道整復療養費が増加しているとして、適正な請求に関する周知資料が京都府から各市町村に配布されたことを報告。被保険者に対し注意事項を記載したチラシの配布や施術を受けた状況等のアンケート調査を行っており、既に綾部市、亀岡市、城陽市、向日市、南丹市、与謝野町で実施していることを示し、京都市は数か月後に実施予定、宇治市、宮津市も準備中であると報告した。また、地区に

よっては行政から連絡なく実施されているところもあるとして、留意いただくよう依頼。医療機関にかかっている患者さんから相談があれば「接骨院では慢性疾患に対して健康保険を使用して施術は受けられない」ことを説明いただくよう、地区での周知を依頼した。

西陣医師会から、「訪問専門のマッサージの施術所を開くため患者を紹介してほしい」という方が医院に挨拶にきたという事例が示され、「積極的に患者を紹介してはいけないということか」との質問が上がった。内田府医理事は、「いけないということではない」と回答した上で麻痺があり通院できない方など、訪問してリハビリが必要な患者であると医師自身が判断すれば同意してよいが、慰安目的などのマッサージであれば同意はしないよう依頼した。

4. 「麻しんに関する特定感染症予防指針」の一部改正について（藤田理事）

国が平成 20 年に策定した、麻しん排除に向けた対策を強化するための指針について、目標にしていた 24 年度末までの麻しん排除は達成できなかったものの、一定の改善は見られたとして、次年度以降の指針の改正内容を説明。27 年度までに麻しん排除を目指すとした他、第 1 期および第 2 期の定期接種の接種率を 95%以上にする、届出・検査・相談体制を充実させるなどの主な変更点を説明した。

5. 予防接種法改正による 7 ワクチンの定期接種化を実現するための署名活動の

実施について（藤田理事）

日医による子宮頸がん予防、ヒブ、小児用肺炎球菌、水痘、おたふくかぜ、成人用肺炎球菌、B 型肝炎の 7 ワクチンの定期接種化を国に働きかける署名活動について説明し、協力を求めた。

6. Be Well VOL. 65「登園（校）停止基準と登園届」の一部修正について（藤田理事）

Be Well のインフルエンザの項において、一部表現が誤解を招きやすいとして、一部を修正し、増刷時に正しい表現に変えることを報告、周知を依頼した。（修正内容については、京都医報 平成 25 年 2 月 1 日号 No. 1998. 9 ページ参照）

7. 学術講演会の今後の予定について（小野理事）

2 月に予定している京都府医師会学術講演会を紹介し、多数の参加を呼びかけた。

8. 第 10 回京都府医師会医療安全シンポジウムについて（久山副会長）

と き 2 月 17 日（日）午後 2 時～4 時 30 分

と ころ 京都府医師会館 3 F 大会議室

テーマ 「なぜ、すれ違う 患者の立場×医者立場～医療機関の現場より事例紹介～」

上記の通り開催することを紹介。府民・市民向けのシンポジウムのため、各医療機関での周知を依頼するとともに、多数の参加を呼びかけた。（京都医報 2013 年 2 月 1 日号 No. 1998. 27 ページ参照）

9. 地区からのご意見・ご要望

【西陣】

「骨髄バンク普及映画（日本医師会後援事業）」への支援依頼が送られてきたが、府医にも来ているか。また府医の対応を教えてください。

森府医会長は、府医にも送られているが、全国的に支援するという流れではなく、特別に活動していないとして、各地区での判断を依頼した。

介護認定審査委員の欠員が出たときに、なかなか引き受けてもらえないが、状況の打開策についてアドバイスを頂きたい。

関府医理事は、プール委員を配置して交代制にする、標榜科に関わらず審査委員になっていただくなど、ローテーションでやっていただきたいとして、協力を求めた。